

電子出版の発行にあたって

元々この本は、旅先で大変お世話になった方々へのご報告の為に作った物でした。また、この旅を影ながら応援してくれた親戚、友人への感謝の気持ちでもありました。「全線連続踏破」を終えてから、記憶の定かの内にと思い、早速執筆の毎日を過ごしました。約10ヶ月をかけて、ようやく発行の運びになり、北は北海道から南は九州の人々に贈呈しました。贈られた多くの方から、手紙、葉書などを沢山頂戴し、改めて「全線踏破」の感動を認識しました。内容の多くは、小生と旅先で出会ったその後の安否であり、こうして無事に終わったことに対する「おめでとう」と言う言葉が大半でありました。

しかし、反面、かなり厳しい批判もあり、まったく、その通りと言う他はありません。例えば、難読駅があった、美人に会った、今日はここまで乗った、疲れたではダメである。

車中などで出会った人との「一期一会」を主に記載しており、登場しきりない人も多くいることから記憶が薄らない内に1人でも多くの人を1行でも良いから紹介をたく、更にまとめました。これらの批判を尊重して誤字脱字、文章の不具合の修正に重点を置き、発行しました。著者は何を言いたいのか、諺、四字熟語、回文を通して何を言いたいのかである。この旅を通して得た知識を元に、自叙伝を含めながら各地での思い出も混ぜながら記載します。

この度、広く世間の愛読者に読んで貰いたく、内容を見直して電子出版と言う形に仕上げました。この旅でお世話になった以外の方でも、少しでも興味がある方に読んで貰いたく恥じを忍んで出版しました。

文中で使用している、例えば、廃止になった年月、線の区間などは専門家による監修はなく小生の長年に渡っての独自の記憶と判断による表現で記載しております。諺、四字熟語なども本来の意味から、かけ離れている点もありますが文章を面白くする為に用いてまた登場する駅名、線名、列車名、一部の商品名、メーカー名に対する表現はその名前について何ら批評したり、中傷する意図は全くありませんことを延べさせていただきます。

全国各地から頂いたお手紙の一部を紹介します。

